

「済州国際青少年フォーラム 2018」について

高校2年の11月、「済州国際青少年フォーラム 2018」に参加し、世界中の高校生と5日間生活を共にしながら、SDGsについて考えアイデアを英語で議論しました。プログラムでは、特にアジアの高校生の語学力に刺激を受けながら、日本の文化として「オタ芸」を披露し、仲間と協働して言語や文化の壁を乗り越える第一歩を体験することができました。



北大での活動について

北大では、HSI Team OMOTENASHI という学生団体を立ち上げ、従来の国際交流が難しいコロナ禍において、北大生と海外学生を結び付ける様々なイベントを企画・運営しています。昨年8月には海外学生や札幌市民を対象に北大バーチャルツアーをYouTubeで生配信しました。10月に開催したHSI SDGs Challenge Competition 2021では、世界中の学生がオンラインでチームを結成し、「北海道の持続可能な観光」をテーマにビジネスアイデアを英語でプレゼンしました。新しい試みばかりで躊躇することもありましたが、難しい日々が続く現在、情報高校で培ったコミュニケーション力やオンライン技術について、言語を問わずその重要性を痛感しています。
 ※Hokkaido サマー・インスティテュート (HSI) は、夏季(6月~10月)に北大で行われるサマースクールで、世界の第一線で活躍する研究者とともに最先端の授業が英語で行われます。

